

広報

まちづくり情報誌

小田原

city of odawara public relations

1 2007
JAN
/1月号

このまちの
未来は
ほくたちが
つくる！



新たな旅立ちに向けて

未来への種が
芽吹き始める

今年、新しい城下町づくりに取りかかる年です。お城通り再開発事業や（仮称）城下町ホールがよいよ動き出し、建設のつち音が聞こえ始めます。昨年までは、夢が目に見える形になるための長い準備期間でした。田を耕し、未来への種まきをして、ようやく芽が出て、市民の皆さんにその成果をお見せできるようになります。

まちづくりは生き物です。社会情勢の変化などで混とんとした中でも、一歩一歩着実に前進しています。皆さんの夢をはぐくむ場、市民の皆さんの宝物をお渡しできる準備がやっとできたといえます。将来の小田原、そして市民の皆さんの幸せのために着手していきます。

また、活性化のための整備を進めている駅周辺から、「馬出門」の復元によって往時の正規登城ルートがよみがえる小田原城址へ、水と緑がきらめくいやしの空間を整備することも考えています。小田原ブランドを象徴するような駅周辺とお城を、安らぎに満ちた美しいレールでつなぎます。訪れた内外の皆

さんが心相通りとなることでしよう。

未来につながる 小田原のまちづくり

近隣の1市8町との合併も、スタート地点に立ちます。合併によるメリットやデメリットを見極め、市民の皆さんにも投げかけながら、議会とも一体となって将来を見据えた検討を進めていきます。

また、学校を取り巻く状況が大きく変化し、いじめなどの問



あけましておめでとうございます。
市民の皆さんの幸せを願い、
すがすがしい気持ちで新年を迎えております。

小田原市長

小澤 良明

今年は、夢が現実になる船出
の年です。皆さんとともに歩み、
まちづくりを進めていきます。

題が後を絶たない中で、次代を担う子どもたちに輝かしい未来をプレゼントしなくてはなりません。子どもたちのことを常に中心に考え、家庭や地域・学校・行政が一体となって教育のさまざまな課題に取り組めます。

学校の二学期制（仮称）おだわらっ子の約束など教育への新しい試みと同時に、「子ども」の観・道徳、学力の向上、教師の質の向上」の3本柱を掲げ、子どもたちの未来への種まきを始めます。

理想の港を求めて

防災、福祉、環境など、これまでもさまざまな分野を市民の皆さんと考えてきました。そのおほろげに見えていたものが形になるのが今年です。

災害情報や日ごろの危険情報・行政情報の発信など幅広い場面で大きな役割を果たし、地域の活性化にも期待が寄せられる「FM小田原」も開局します。そのFMという新しい波に乗って、理想の港を目指し、市民の皆さんとともに新たな出航です。初心を忘れず、気力・体力を充実させ、誠心誠意まちづくりに全力投球していきます。

新しい年が始まります。2007年は小田原にとって、どのような年になるのでしょうか。今年の抱負、まちづくりへの思いを、小田原を代表する二人に語っていただきました。

道徳や倫理の在り方が問われる時代に

昨年は、トリノオリンピックで金メダルを獲得した荒川静香選手による素晴らしい演技や、ワールドベ이스ボールクラシックでの日本の劇的な逆転優勝など、スポーツのさまざまな活躍の光景は私たちに元気を分けてくれました。また、秋篠宮妃子様が悠仁様をご出産されたことは我が国において明るい話題となりました。

一方で、人と人のつながりの希薄化によるコミュニティの弱体化や家族の在り方が問題となり、児童虐待やいじめ問題などが大きく取り上げられたほか、不当な株取引をはじめインターネットによる個人情報や機密情報の流出、飲酒運転などモラルが問われる事件が数多く起こりました。このように道徳や倫理の在り方が問われている今だからこそ、私は郷土の偉人である二宮尊徳翁の教えを見直すべきであると考えております。

二宮尊徳翁の教えを再確認

たとえば、数多くある翁の教



小田原市議会議長

下村 英之

新年明けましておめでとうございます。
皆さんにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

報徳の考え方を生かし、心豊かな人が住まう小田原を目指します。

意見交換が行われ、その生き方や考え方が現代のまちづくりにおいても大変重要であることを再認識しました。

私も小田原市議会も、尊徳翁の事績や教えをしつかりと理解し、広めていくことが重要であると考え、そのような思いをもとに、昨年の九月定例会において「二宮尊徳の偉業のさらなる顕彰施策の促進に関する決議」を提出し、全会一致で可決いたしました。

尊徳翁の偉業を次世代にしっかりと引き継ぎ、「至誠」「勤労」「分度」「推譲」を中心とする報徳の考え方を生かしたまちづくりを進め、人を愛し、郷土を愛する心豊かな人が住まう小田原を目指していくことが必要であると考えております。

市議会といたしましても、市民の皆様の声聞き、市政発展のためさらに努力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって明るくよい年でありますことと、皆さんのご健勝とご多幸を祈念いたします。

訪れるたびに新発見!

ようこそ

「感動リゾート・西さがみ」へ

NISHISAGAMIODAWARA
HAKONE
MANAZURU
YUGAWARA**西さがみ連邦共和国観光交流推進協議会****もてなし講座のようす****外国人観光客もてなし講座**

「地域の人々による外国人観光客へのおもてなし」をテーマに、外国人観光客との関わりを通しての体験談やおもてなしのヒントなどを講師から伺います。

昨年の1月には、観光力リスマの澤の屋旅館館主・澤功さんをお招きし、これまでの体験談をユーモアたっぷりにお話しいただきました。

この講座は、2月20日(火)にも開きます。

西さがみ地域の幅広い関係者が一体となって、魅力ある地域づくりと観光交流の拡大のため平成15年12月に設立した「西さがみ連邦共和国観光交流推進協議会」。国土交通省の「観光地域づくり実践プラン」の実施地域にも選定され、国からの支援も受けながら、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを目指し、さまざまな取り組みを進めています。

◎事務局(観光課内) ☎33-1523
<http://www.nishisagami.jp>

**おもてなし研修会のようす**

「住民一人一人がおもてなしの主体」という意識を持ってもらうための啓発運動として、「小さな

小さなおもてなし運動

おもてなし運動」を展開しています。

地域住民の観光客への心遣いをイラストで伝える6種類の「おもてなしシール」を作り、商店や旅館などに貼ると同時に、地域住民を対象に「おもてなし研修会」を実施し、もてなしを「する側」と「される側」が一体となって感動を共有できるようなおもてなしの手法などを、講義やグループワークを通して理解を深めています。

おもてなしシールは、この運動にご協力いただけるかに無料で配布しています。

**観光まちづくり交流フォーラム**

観光振興に関わる行政、企業、NPOなど、地域でさまざまな活動に取り組んでいるかたが一堂に会し、地域の優れた観光資源を活用した「観光まちづくり」について共に考え、具体的な行動へとつなげていくための新たな交流の場として、平成17年から開いています。NPO活動紹介コーナーなどもあります。今年は2月5日(月)に開きます。

昨年のようす**観光まちづくり交流フォーラム**

あなたの声が まちをつくります

市では、小田原のまちをよりよくするため、広く市民の皆さんの意見を聴く、広聴事業を行っています。

☎広聴広聴室 ☎33-1263

市 民の皆さんは行政サービスの受け手であるとともに、まちと一緒に生きていくパートナーでもあります。暮らしやすいまち、魅力的なまちをつかっていくためには、市民の皆さんの声を聴き、まちづくりに生かしていくことが大切です。

そこで、次のような広聴事業を行っています。皆さんの“声”をお寄せください。

●市長への手紙

「こんにちは、市長さん～市民の声の直通便～」

市の施設などに用意してある専用のハガキを使って、市政に対するご意見、ご提案をお寄せください。いただいたご意見すべてに市長が目を通し、市政の参考とさせていただきます。

市のホームページからご意見をお寄せいただくこともできます。

「市民の声」URL

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/voice/voice.html>



●タウンミーティング～市民と市長とのほっと懇談会～

まちづくりの方向性や重要施策を、市民の皆さんと市長がひざを交えて話し合う場です。今年度は「市民の選択による予算配分システム」などをテーマに4回開きました。（今年度の開催は終了しました）



●市政アンケート

携帯電話や自宅のパソコンからアンケートにお答えいただくシステムです。身近なことからまちづくりに関することまで、アンケートの内容はさまざまです。アンケートにお答えいただくには、あらかじめ登録していただく必要があります。詳しくは市のホームページをご覧ください。

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/c-planning/odawaraqa.html>

このほかにも、「市政モニター」や「動く市政教室」など、さまざまな手法で市民の皆さんの声を聴く機会を設けています。

また、事業を行う各所管でもアンケートや意見の募集、説明会の開催などを行い、積極的に市民意見の反映に努めています。

外国人もてなしハンドブックの作成

地 域を訪れる外国人観光客に心を込めたおもてなしをするためのきっかけ作りとして、ハンドブックを作りしました。

「外国人観光客が日本を訪れる際、何に困るのか？」ということに重点を置いて検討を重ね、道を聞かれたときの簡単な答え方や両替などの「外国人が困ること」



への状況別の対応例などを盛り込みました。

外国語でのあいさつや英語の表現にはすべてカタカナを振り、イラストや写真を多く使って、外国語が苦手な方にも使いやすい構成となっています。

また、状況別のやり取りは「指差し」だけでも対応できるつくりになっています。

日時 2月5日(月)13:30～
場所 湯本富士屋ホテル
(「箱根湯本駅」から徒歩3分)

内容

【第1部 セミナー】 13:30～16:10

講演「教育旅行誘致成功のための手法と実践」

東北広域教育旅行
誘致委員会幹事長
小椋唯一さん

費用 無料

定員 200人

【第2部 ふれあい交流会】 16:30～17:30

西さがみの味紹介コーナーなど

費用 3,000円

【併催イベント・西さがみ体験ウォーク】

9:30～12:00 (9:30箱根湯本駅集合)

箱根温泉発祥の地と早雲寺(約3km)

費用 100円(保険料)

※NPO法人小田原ガイド協会による史跡・スポットの説明があります。



期待を担って(仮称)城下町ホールを建設

「コバケンと歌おう!!」市民による第九演奏会も開催!



市役所での練習の様子

市民の長年の願いであった(仮称)城下町ホール。

基本設計がまとまり、現在、市民意見を取り入れながら実施設計を進め、建設に向けて着実に歩んでいます。

新ホールへの期待を胸に、イベントも開かれます。

◎文化交流課 ☎331706

城下町ホールって どんな施設になるの?

(仮称)城下町ホールは、できるだけ多くのかたが利用できる施設とするため、コンサート、演劇、ミュージカルから大会や式典までの幅広い演目に柔軟に対応できる「多機能ホール」として整備します。

また、きらりと光る特徴として、小田原の文化的な特徴の一つである音楽が盛んな点に着目し、クラシックなどの生音がホールに心地よく響きわたることを重視したホールとします。プロの公演だけでなく、皆さんの文化活動の発表の場としても使いやすいよう、中ホールの大きさでも使える機能を導入し

ます。さらに小さな催しには、サブホールが利用できます。お稽古の発表会や練習、絵画などの展示にも利用できます。

お城周辺を散策したときのお休み処としてカフェも整備します。また練習室ではオーケストラの練習もできます。

平成19年度建設工事に着手し、平成21年度の開館を予定していますので、完成までもう少しお待ちください。

イベントも初めて開催

今回開かれるのはベートーベンの第九演奏会。城下町ホールでの演奏を夢見ている市民が中心となって企画したものです。

合唱は公募により集まった260人も、市民合唱団で、3月25日の本番に向け、練習に励んでいます。

指揮はコバケンの愛称で親しまれ世界的に活躍する小林研一郎さんに依頼。都内オーケストラの首席奏者などからなるオーケストラをバックに第九を歌えるところ、合唱練習にも一段と熱が入っています。

ソリストも内外で活躍する地元の声楽家で、一流のプロと市民がつくり出すハーモニーがどのようなものとなるのか、期待が膨らんでいます。

(仮称)城下町ホール建設応援イベント 市民劇場

コバケンと歌おう!! 市民による第九演奏会

日時 3月25日(開演14:00 (開場13:00)) 場所 市民会館大ホール

曲目 ベートーベン作曲交響曲第9番「歓喜の歌」

入場料 3,000円 (自由席、税込)

※チケットは市民会館、伊勢治書店、井上楽器、大村楽器で販売しています。

問 井上楽器 ☎24-0515

主催/市民による第九演奏会実行委員会

共催/小田原市、小田原音楽連盟、小田原地区合唱連盟、小田原楽友協会

後援/小田原市教育委員会



使い方いろいろ、市の施設

市には、生涯学習やスポーツ、会議など、その目的に応じた施設があります。その中には皆さんの知らない施設もあるかもしれません。この機会に一度訪れてみてはいかがでしょうか。

◎いこいの森管理事務所 ☎24-3785 地域政策課 ☎33-1725

いろいろ楽しめる いこいの森

いこいの森といえば、キャン
プやバーベキューと連想するか

たも多いはず。

しかし、広大な敷地を持つい

バードゴルフス



こいの森での楽
しめはそれだけ
ではありません。
その一つが体
験交流センター
「きつつき」。そ
してもう一つが
リニューアルし
たばかりのパー
ドゴルフ場です。
きつつきで

は、木材をふんだんに使った建
物の中で、お正月のミニ門松や
ベンチ作りなど木工体験がで
きます。ホールもありますので
緑に囲まれた静かな環境の中
で会議をするといった使い方
もできます。
また、1月13日には「どんど
焼き」をします。
バードゴルフ場は、全18ホー
ル、2ヘクタールという広大な
コースで、周りのかたを気にす
ることなく、シャトルボールを
思いきり打つことができます。
用具も貸し出しているので手ぶ
らで来て、気軽にできるのも大
きな魅力です。

女性に優しい施設 女性プラザCHAT茶つと

利用者の声

おだわら女性プラザCHAT
茶つとは駅からお城へ向かう途
中にある「お堀端通り」の左手、
音羽プラザビルの2階にあり
ます。趣味活動や会議の場とし
てはもちろん、簡単な打ち合わ
せや友人との待ち合わせ、買物
途中での一休みなど、自由に利
用できます。

また、授乳室やおむつ交換台の
あるトイレなど、女性にうれし
い設備も整っています。

「ここは、利用料も無料だし、
アットホームな雰囲気がつつ
てもいい。特に普通の貸会議室
と違って、作品の展示もしてい
るし、スタッフも女性だから安
心、くつろいだ雰囲気の中で時
間が過ぎていく感じがします」
との声も。

お近くに来たときはぜひお立
ち寄りください。



「梅の正月飾り(ちりめん紙工)」講座のようす。今月の「世界の女性た
ちバネル展」など四季折々のイベントも開いています。



「女性プラザ
CHATちゃつと」
施設データ

場所 栄町1-14-11
お堀端通り
音羽プラザビル2階
(エレベーター有り)
☎22-3719
開所時間 10:00~18:00
年中無休(年末年始を除く)
費用 無料



「いこいの森」
施設データ

場所 久野4294-1
開園時間 9:00~17:00(一部
施設により異なります)
休園 毎週月曜日、祝日の翌日
(月曜日が祝日の場合は
その翌日)、年末年始
費用 ●バードゴルフ場 400円
(プレー費、クラブボール
マット貸出料) ●きつつ
き木工芸体験室(材料費
別) 個人:200円 団体
(20人以上):4,000円

市の財政状況

毎年6月と12月に財政状況を公表しています。今回は、平成17年度の決算状況をお知らせします。

●財政課 ☎331312

昨年度の一般会計決算

収入では、平成16年度に比べ、固定資産税・個人市民税の市税が2億7,574万円、繰入金が6億8,000万円増えたことから、全体でも増収になりました。

歳出では、義務的経費の人員費や扶助費が増え、公債費は減ったものの、全体では増加しました。

その内訳ですが、まず、人員費では職員数は減りましたが、退職者の増加による退職手当の増加などで、給与が23%、扶助費では、児童手当、生活保護費の増加などで4.9%とそれぞれ増加しました。また、公債費では全体で3.7%減りました。総額では291億7,400万円となり、およそ4億7,300万円の増額でした。

投資的経費では、地域センターや消防署南分署の整備など、事業の増加などにより総額で73億400万円と、前年度に比べて27.6%の増になっています。

市の対応

市の財政状況は、年々税収が減少す

平成17年度一般会計決算

■依存財源計 188億700万円(31.0%)

■その他の依存財源 33億8,300万円(5.6%)

■地方消費税交付金 19億5,700万円(3.2%)

■県支出金 24億6,700万円(4.1%)

■市債 46億8,800万円(7.7%)

■国庫支出金 63億1,200万円(10.4%)

★その他の自主財源 26億1,000万円(4.3%)

★使用料及び手数料 17億5,100万円(2.9%)

★諸収入 25億4,700万円(4.2%)

★繰越金 27億6,800万円(4.6%)

★市税 321億300万円(53.0%)

収入
605億
8,600万円

★自主財源計 417億7,900万円(69.0%)

議会費、労働費、諸支出金 9億円(1.5%)

農林水産業費 7億5,400万円(1.3%)

商工費 11億1,500万円(1.9%)

消防費 21億8,900万円(3.8%)

衛生費 59億600万円(10.2%)

教育費 64億6,600万円(11.2%)

公債費 66億600万円(11.4%)

土木費 89億6,400万円(15.5%)

民生費 158億4,000万円(27.4%)

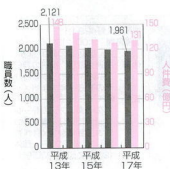
歳出
578億
4,700万円

総務費 91億2,700万円(15.8%)

る右肩下がりの状況にも関わらず、支出の義務的経費が右肩上がりに増加し続けるという、とても厳しい状況にあります。しかし、市民生活を守るため、新た

な費用を使わないでサービスを向上させる「ゼロ予算事業」を行うなど、収入と支出のバランスを図りながら、健全な財政運営に努めています。

人員費と職員数



●人員費

議員や各種委員、職員に勤労の対価として支払われる一切の経費です。市では、平成8年度から職員数の適正化と人員費の削減に努めて、ピーク時の平成6年度の2,338人から今年度まで428人の職員を減らしています。

義務的な支出で自由に減らせない経費です。人員費、扶助費、公債費がこれに当たります。支出に占めるこの費用の比率が高いと自由に使えるお金が少なく、財政が厳しいとされます。

義務的経費ってなに？

義務的経費から見る
財政の推移

目的別費用	1人当たり
【民生費】福祉の充実に	79,842円
【総務費】防災対策・住民登録・市庁舎の維持管理などに	46,002円
【土木費】道路・公園・河川の整備に	45,183円
【公債費】借入金の返済に	33,296円
【教育費】学校教育・社会教育施設の整備、文化財の保護に	32,590円
【衛生費】健康対策と清潔なまちづくりに	29,769円
【消防費】火災・水害などから守るために	10,935円
【商工費】商工業・観光の振興に	5,618円
【農林水産業費】農業・水産業の振興に	3,798円
【議会費、労働費、諸支出金】その他議会の運営、労働者の福祉向上、いざというときに	4,538円
合計	291,571円

(平成18年4月1日現在の推計人口198,398人で計算)

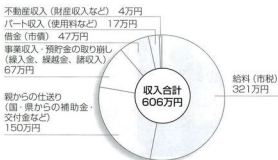
皆さんが支払った税金は、まちの基盤や福祉、教育文化施設の整備、まちづくりなどさまざま事業に使われています。

市民1人に使われる合計額
291,571円

市民一人にいくら使われているの…



おだわらの1年間の家計簿(イメージ)



収入(606万円)と支出(579万円)の差額27万円は次年度へ繰り越します。

家庭に置き換えると?

決算を身近に感じていただくために小田原市の一般会計を家計簿に置き換

えてみました。
1年間の家計の収入と支出を一般会計総額の1万分の1とすると、次のようになります。

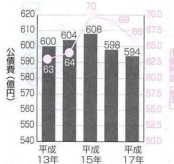
競輪収益金の使途状況



競輪事業の収益金

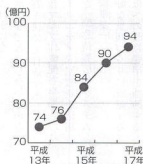
競輪事業を行うため、その事業の収入で運営している競輪事業特別会計。この収益金は上のグラフのとおり、道路や教育施設の整備をはじめとして、市のさまざまな事業に活用されています。

公債費と市債残高



●公債費
特定の事業や減収を補てんするために国、県や民間などから借りた市債の返済金とその利息です。市債の返済金以上に新たに市債を借入れ入ることがないように注意しています。

扶助費



●扶助費
法令などにより、市民に支給される費用です。主に生活保護費や児童手当、児童扶養手当、就学援助費などです。人口の高齢化や景気動向などの要因により増え続けています。

「市民が選ぶ予算の使い道」―事業の状況を報告します

行政経営室 第331304

市民の皆さんの声を予算に反映させるため、「市民満足度重要度調査」によって明らかになった各重点事業分野に、市民の皆さんにアンケート調査を行い、総額約1億円（市民税の約1%相当額）を特別予算枠として配分しています。

今回は、昨年の広報小田原3月1日号でお知らせした今年度の対象事業の経過をお知らせします。（内は、職員人件費を除く配分予算額です。）

【事業分野】 道路の整備（1,000万円）

【地域安心安全道づくり事業】

この事業は、交差点の安全性などを地域のかたと市の職員が一緒に現地調査し、意見を交換することで、地域のニーズに合った道路整備を、より早く行うというものです。

整備後に行った地域へのアンケート調査では「問題がある箇所の優先順位が明確になってよい」、「非常によい事業なので継続してほしい。」などの意見も寄せられ、道路整備の新たな手法として期待されています。昨年度は川東北地区を対象とし、



リニューアルしたマロニエ児童プラザ「ラッコ」



前羽福社館での料理教室

今年度は川東南部地区を対象としました。来年度は富水・桜井地区を対象とする予定ですが、その後も順次全地区でこの事業を展開し、安全で安心して利用できる身近な道路の整備を進めていきます。

【事業分野】

高齢者福祉の充実（2,500万円）

（高齢者施設ルネッサンス事業・老人福祉施設充実整備事業）

「社会福祉センター」や「いそしぎ」、「前羽福社館」の改修を行います。

調理室の改修が完了した「前羽福社館」では、ボランティア団体によって高齢者の食生活改善のための料理教室などが開かれています。

【事業分野】

学校教育の充実（1,300万円）

（学校インテリホン設置事業）

学校への不審者対策のため、職員室や教室、体育館などをつなぐインテリホンを、未設置のすべての小学校21校に設置しました。緊急時の校内の連絡手段が整ったことはもちろん、教育的配慮を必要とする子どもへ素早く対応することができるようになりました。

【事業分野】

子育て支援策の充実（1,600万円）

（マロニエ児童プラザリニューアル事業）

昨年8月、マロニエの子育て支援センターの開設に併せて、児童プラザ「ラッコ」をリニューアルし、木製の遊具を設置しました。連日多くの子どもたちでにぎわっています。

来年度の対象事業も決まり次第、皆さんにお知らせします。

このほかにも、

●自治会などと話し合いながら内容を決めて作成する「防災総合マップ作成配布事業」
●コミュニティFM放送を活用した「緊急情報広報システム整備事業」

●良好な景観づくりに貢献する看板への改修費用を補助する「屋外広告物早期改善促進補助事業」

●小田原の都市イメージを高めるための「小田原情報発信事業」も着々と進んでいます。

県境を越え、 37市町村長が一堂に！

「S・K・Y広域圏市町村サミットを開催」

企画政策課 331254

11月30日(木)、ヒルトン小田原リゾート&スパで「第7回富士箱根伊豆交流圏市町村サミット」を開催しました。

このサミットは、神奈川県・山梨・静岡の37市町村が富士箱根伊豆地域を一つの圏域としてとらえ、県境を越えた交流を進めるため、年に1回、各県下の構成市町村長が一堂に会して広域的な振興策・連携策について意見交換を行うもので、当日は3県の知事らを来賓として迎え、開きました。

会議では災害時の相互応援に関する協定書を37市町村で締結したほか、観光をテーマとした講演や知事を交えた意見交換を行い、最後に、会長である小澤小田原市長がサミット宣言を読み上げることに意見が集約され、幕を閉じました。

※S・K・Y広域圏：

静岡県(S)、神奈川県(K)、山梨県(Y)の頭文字を取り、富士箱根伊豆地域をS・K・Y(S・K・Y)広域圏と呼んでいます。

おだわらインフォメーション

防災ひとくちメモ 知ってますか？ 補助金制度

防災対策課 331855

地

震は、いつ起こるか分かりません。新潟県中越地震や福岡県西方沖地震など、ここ数年大きな地震が発生したこともあり、災害に対する意識は高まっています。

そこで市では、地震の被害を軽減するよう「危険な塀撤去改修促進事業補助金」を交付しています。この補助制度を利用し、安全なブロック塀や生け垣に転換し「地震に強いまち」「安心して暮らせるまち」をつくりましょう。

対象

市内の道路(注1)に面した危険な塀(注2)の撤去か補強、安全な塀や生け垣を造る工事費

(注1) 道路

○国・県・市その他公法人が所有し、または管理する道

○建築基準法(昭和25年法律第201号)第42条に定める道路

(注2) 塀

○傾斜が著しい塀

○壁内に鉄筋が適正に配置されていない塀

○石積基礎の塀またはこれに類する塀

○風化またはひび割れが著しい塀

補助金限度額

工事費用の2分の1の額で、撤去工事は10万円、補強工事は5万円、塀や生け垣を造る工事は15万円まで

※ほかにも「木造住宅簡易耐震診断費」「木造住宅耐震改修工事費」「家具等転倒防止対策」の補助制度があります。詳しくはお問い合わせください。



平成
18年度

小田原市民功労賞はこのかたがたに！

市民功労賞は、学術・文化・福祉・産業など市民生活のさまざまな分野において功績のあったかたにお贈りしています。今年度の受賞は、次のかたがたに決まりました。贈呈式は1月8日(祝)に市民会館で行います。

文化交流課 ☎ 331703

NPO法人 小田原ガイド協会

小田原の豊かな自然や歴史・文化を市民や観光客へ紹介する活動を通して、本市の観光振興、文化継承、地域発展に貢献されました。



柴田 秀之助さん
(南町)

市体育協会の設立に尽力するなど、本市のスポーツ振興の基礎を築くとともに、市民へのスポーツ・レクリエーション活動の普及・推進に尽くされました。

鈴木 三郎さん

二二三子さんご夫妻
(久野)

自宅の庭園で育てた数百本のさる菊を「さる菊園」として公開し、多くの市民や観光客へ感動を与えとともに、小田原の文化・知名度の向上に貢献されました。



関口 秀夫さん
(本町)

長年にわたる劇団こゆるぎ座の活動をはじめ、芸術文化に深い造詣をもつ、社会教育委員、青少年問題協議会委員としての活動を通して、本市の生涯学習・社会教育の発展に尽くされました。

※この賞は、市民のかたからの寄附金をもとに設置した「小田原市ほう賞基金」により運営しています。

お知らせ

被害を最小限にとどめるために
NBC災害対応訓練

警防課 ☎ 494421



化学テロが起きたときでも、効果的な初動対応ができるよう、12月7日の午前中、小田原駅に乗り入れている鉄道5社と警察、消防が合同で、災害対応訓練を行いました。

訓練は、電車内で有毒物質がまかれたという想定のもと、被害者の避難誘導や救助、物質の特定や除去といった関係機関での役割分担や支援体制を確認しながら、活動の連携も強化して、被害を最小限に食い止めるというもの。

電車の車両や駅ホームなどでは本番さながらの緊迫した雰囲気訓練が進んでいました。

※NBCとは、核(Nuclear)、生物(Biological)、化学(Chemical)の頭文字を取り略したものです。

おとなも子どもも火の用心!

消防団と幼年消防クラブ

火災を防いでいるのは、消防本部、署だけではありません。地域の中では消防団もその活動に当たり、幼年消防クラブが火災予防を呼びかけ、安心・安全に貢献しています。

◎予防課 ☎49-4424

安心感を生む消防団

ふだんは自分の仕事をしながら、いざというときには消火活動や救助・救出活動などを担う消防団。現在、732人の団員が、災害現場での活動はもちろん、災害に備えた訓練や警戒活動をしています。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るため、地域の要として、活躍しています。

子どものうちから火の用心

幼少期からの火災の教育を通じて、将来の火災予防に生かしてもらおうと昭和59年からスタートしている幼年消防クラブ。現在市内20の幼稚園・保育園で結成されています。

クラブ員の子もたちは、1



消防車お絵かき会での1コマ。みんな真剣です。



秋の火災予防運動期間中の小田原駅での街頭広報。2月28日・3月1日にも小田原駅アーケードで火災予防を呼びかけます。

月の消防出初式や夏場の花火の時期など、折にふれて火災予防の大切さを学んでいます。

また、自らが学ぶだけでなく、保護者や地域のかたなどにも火災の予防を呼びかけています。また、毎年秋に消防車の働き

魔の時間帯に注意!

を学ぶために、消防車を面用紙いっぱいには描いています。これらの作品は、秋の火災予防運動週間に展示会を開き、家族のかたはもちろん、多くのかたに見てもらっています。

クラブ員は、いつでも、元氣いっぱい。火の用心!です。

午後5時から7時ごろは、夕食の準備などで大人の目が行き届かない時間「魔の時間帯」です。家の中が子どもだけににならないように注意して、「子どもの火遊び」による火災で、尊い命が失われることのないよう、手の届くところには、ライターなどを置かないようにしましょう。

子ども部屋にも火災警報器を

消防法や市火災予防条例が改正され、すべての住宅に住宅用火災警報器などの設置が義務付けられています。対象は、寝室や階段室などです。子どもが寝る部屋もその対象になります。子どもたちの安全確保のためにも、早めに設置しましょう。

なお、新築住宅はすでに昨年6月1日から設置することに なっていますが、既存の住宅も平成23年5月31日までに設置してください。

消防出初式

◎消防課 ☎49-4421

火災や災害のない明るい1年であることを願い、行います。一斉放水やはしご乗りは壮観です。なお、雨天の場合は、式典と表彰式のみを市民会館で行います。

日時 1月11日(日)9:00~11:50

場所 城址公園二の丸広場・お堀端通り

お知らせ



市の取り組み

子どもたちを 健やかに育てていくために



市では、いじめや悩みにより児童生徒が自らその命を絶つことのないようにとの願いから、教育長が「子どもたちや保護者へのメッセージ」を送りました。
また、青少年の健全な育成を目指して青少年相談センターが中心となって、さまざまな取り組みをしています。

◎学校教育課 ☎33-16804
◎学校相談センター ☎23-1481



子どもたちへのメッセージより (一部抜粋)

あなたの一つしかない命を大切にしてほしいです。あなた自身が大切な存在なのです。あなたの周りの多くの人たちにとって、あなたが大切なのです。

悩んでいる人たち一人一人を守りたい。悩んでいること、困っていることがあったら、家族や先生や友だち、周りの人に相談をしてください。悩んでいる友だちがいたら、そのことを伝えてください。

身近な人に相談ができないのなら、ぜひ、電話をしてください。

「あなたが大切」相談してください
の思いを託して

全国でいじめや悩みによる子どもの自殺が相次ぎ、大きな問題になっています。そこで、昨年11月22日に教育長がメッセージを発信しました(左上参照)。

青少年の健全な育成を

生徒・児童など青少年の健全な育成のためには、いじめなど主に学校内のことだけでなく、地域や家庭での意識を高めることも重要です。

そこで、昨年11月22日、青少年健全育成講演会として尊徳記念館に五十畑修さんをお迎えして、薬物依存症への支援の話をさせていただきました。青少年の非行問題に関心のあるかたが大勢集まり、熱心に講演に耳を傾けていました。

また、29日には小田原駅アークロードで全国青少年健全育成強調月間に合わせて、県やさまざまな青少年関係団体とともに社会環境健全化推進街頭キャンペーンを行いました。

さらに、学区集中指導として、各中学校区で毎月2・3回、夜間に、街頭をパトロールして、積極的な青少年へ声をかけています。

非行や問題行動、犯罪に巻き込まれたりするトラブルを未然に防ぐためです。



いじめについてはこちらへ

悩んでいること、困っていることがあったら、迷わず電話をしてください。学校名や名前を言わなくても、相談ができます。

★いじめなんでも相談 ☎33-1729
日時 月曜日～金曜日8:30～17:15

★いじめ110番 ☎0466-81-8111
Eメール soudan@edu-ctr.pref.kanagawa.jp
日時 月曜日～金曜日7:30～23:00
土・日曜日・祝日8:30～17:15



何かあったらいつでも相談を

不登校・家庭内暴力など、青少年に関する相談を専門の相談員が無料で応じています。

★青少年相談センター ☎23-1481
日時 月曜日～金曜日9:30～16:15

友人関係のトラブルなど 学校教育に関する相談は

★教育研究所 ☎33-1729
日時 月曜日～金曜日8:30～17:15



今月の笑顔

元氣あふれる人たちの笑顔は、
見ている人たちにも
力を与えてくれるもの。
このコーナーでは、
みんなが元気になるように、
素敵な笑顔をお届けします。



マラソンランナー(資生堂在籍)
小田原城内高校卒業

尾崎 朱美さん

東京国際女子マラソンで、
自己ベストのタイムで
高橋尚子選手を破って見事2位に

「2位になったことはとてもうれしかった」と静かに語る尾崎さん。陸上は高校、大学と続けてきましたが、マラソンを始めたのは社会人になってから。マラソンには特別な想いがあった、走るのが嫌になつたときも、42・195キロを走るまではやめられないとずっと思っていたそうです。

「今回のマラソンは、高橋選手と土佐選手に注目が集まっていたので、プレッシャーを感じることなく、チャレンジャーとしてリラックスして走れたので楽しかった。だから、高橋選手に勝つたことも、レース後、周りから「すごい」と言われ、ああ、そうなんだとようやく実感がわいたぐらいでした」

練習でも多いときには一日40キロぐらい走り、「苦しい練習もやり遂げたときは楽しい。食事制限など我慢することはつらいけど、目の前に目標があると乗り越えられます」と笑います。

「通学途中に毎日見ていた小田原城は今でもはつきり覚えてい



ます。動物園の象さんは今でも元気ですか」と高校時代の思い出を懐かしそうに話す尾崎さん。今後はと尋ねると、3月には結婚するのでまだ分からないと前置きしながら「フィアンセもランナーなので、まずは彼をサポートしたい。そして、自分も走れる状況ならば続けたい。マラソンは「自分の人生を変えさせてくれたきっかけ」ですからね」と、語ってくれました。

優しい言葉がとも印象的でした。

小田原から成田空港へ乗り換えなし！ 成田空港行き高速バスがますます便利に

往復3便に増発！



写真提供：富士急湘南バス(株)

小田原から成田空港へ乗り換えなしで行くことができますと好評の高速バス成田線。空港利用者の多い時間帯を考え、往復3便に増発されました。

また、停留所には小田原駅西口前(社会福祉センター前交差点付近に新設)と開成駅が増えました。ますます便利になった。高速バスをぜひご利用ください。

利用方法など詳しくは、富士急高速バス予約センター(☎821362)へお問い合わせください。

◎都市政策課 ☎3312767

運賃(片道) 大人:3,800円 小人:1,900円

成田空港(行)

市役所	小田原駅西口前	成田空港第2ターミナル	成田空港第1ターミナル
5:20	5:25	7:45	7:50
9:50	9:55	12:35	12:40
13:20	13:25	16:05	16:10

成田空港(発)

成田空港第2ターミナル	成田空港第1ターミナル	小田原駅西口前	市立病院
14:25	14:30	17:10	17:20
17:25	17:30	20:10	20:15
20:00	20:05	22:45	22:50

学校自慢!

早川小学校
(児童数：230人)



石垣山と早川と相模湾に囲まれ、数多くの歴史と豊かな自然が残る早川小学校学校と地域との結びつきが強い学区であり、さまざまな教育活動に地域の教育力を取り入れています。その一つに、エコバルーン（風船）放天*があります。

これは、小田原交通安全協会早川支部の二協力で、子どもたちの交通安全の意識を高め、交通安全への思いを広く発信しようと、五年前から続けています。今年度は、10月26日、保護者の協力のもと早川保育園の園児と共に350個を大空に放ちました。

このエコボールン（直径約60cm）は、水にぬれると溶けるという。マリマ麻では、さらに環境に優しいのです。でも私たちはそれに自分の顔や漫画のキャラクターなどを思い思いに描きました。ひもの先を結びつけただけには、「青信号」に加えて、右左などの交通標語・メッセージに加え、学校の住所、メールアドレス、名前が書き込んであります。

一昨年は、平塚市や千葉方面まで飛び約80件ほど、さらにその前年には、静岡県三島方面から返事がありました。今年度は、飛ばしてから二時間後に海老名のかたから最初の返事があり、その後、千葉県の九十九里浜のかたからも返事がありました。今まで以上に多くの返事が来るのではないかと期待しています。

また、手紙やメールをくださったかたに、お礼の手紙を書いたり、6年生は藤沢の保育園児と寄せ書きのやり取りをするなど、交流の輪も広がっています。



鈴木 和馬さん
(6年生)

風船を飛ばすとき、「だれかに届きますように」と願いながら飛ばしました。風船は、空高く飛んでいき、あっという間に見えなくなりました。ぼくの書いた標語がだれかに届き、それを守ってくれたらいいなと思って返事を待っています。



奥津 真理さん
(6年生)

エコバルーンを飛ばすのは、これで三回目になりますが、今回も初めてのときと変わらず「だれに届くかな？」とドキドキしていました。空に舞う色とりどりの風船を見送りながら交通事故が少しでも減ることを願いました。



城址公園が
日本の歴史公園100選に

問みどり公園課 ☎33-1583

都市公園法の制定50周年を記念して、(社)日本公園緑地協会などからなる記念事業実行委員会が、歴史的資源との一体性や保存管

址公園」もその一つに選ばれました。

梅・桜・花菖蒲など、四季折々の花の名所としても知られる城址公園。市民の憩いの場であり、小田原を代表する公園として、これからも市民に愛され続けることでしょう。

日本の歴史公園100選のホームページ
http://www.posa.or.jp/op/50year/
2006103001.html